

岩津ねぎだより

令和4年1月6日
岩津ねぎ産地協議会
生産支援チーム

12月下旬から定期的に大雪が続いており、雪よけ対策ができていないほ場を中心に葉の傷みなどの被害が発生しています。融雪後は以下を参考に、最後まで収穫できるよう管理を行ってください。

- 1 雪よけ対策を行い、被害が少ないほ場
→ 安全に注意して、ほ場に入れるようになったら、収穫作業を進めましょう！
- 2 雪の圧迫等で葉折れなどの被害が大きいほ場
→ 焦らずに、ねぎの回復を待ってから収穫しましょう

① 積雪後の収穫には注意しましょう！

気温が低下すると葉に積もった雪が氷塊状態になります。無理に収穫すると葉が破損してしまいます。温度が上昇し、雪が溶けるまで収穫を控える方が望ましいです。

② 融雪で畝間に水が溜まるときは、排水してください。

根の酸欠を防ぐため、畝間に溜まった水が圃場外に排水されるように、溝上げや排水口の点検等を行ってください。

③ 傷んだ葉から、細菌性病害の発生が予想されます。

融雪後は、無理なくできる範囲で傷んだ葉を除去してください。その後、予防のために殺菌剤を散布しましょう（下表参照）。

農薬名	対象病害	倍率	散布液量	使用回数	使用時期
ヨネポン水和剤	黒斑病、さび病、軟腐病、べと病	500倍	100～300ℓ/10a	4回以内	収穫7日前まで
Zボルドー	軟腐病、べと病	500倍	100～300ℓ/10a	—	—

JPPNET 確認 (R3. 1. 1 時点)

④ 新しい葉の生長を促すために追肥を行いましょ。

葉折れしているほ場は、融雪後に 燐硝安加里 s604 を 10～15kg/10a を追肥して、新しい葉の生長を促しましょう。

⑤ 雪よけネットの再確認を！

今回の大雪によって雪よけネットが倒れたり、緩みができているほ場があります。今後の積雪に備えて、融雪後は張り直しを行い、支柱も補強しましょう。



針金やマイカー線等を使用する場合、緩みが出ないように張り直し、補強しましょう



ネットと支柱をヒモや結束バンドなどで結び、ネットのたわみを防ぎましょう！

<問合せ先> 朝来農業改良普及センター：672-6886

和田山営農生活センター：672-4800 朝来営農生活センター：670-4341 山東営農生活センター：670-7744